



# 米国工作機械市場 2025-2026：記録的 受注と今後の展望

2025年12月最高額記録の背景、トランプ政権下の  
政策分析、及び日本企業の輸出機会について

Strategic Market Intelligence Brief

# エグゼクティブサマリー：米国製造業のスーパーサイクル



## 記録的な受注実績

2025年12月の受注額は**8億1,430万ドル**（過去最高）。通期では**57億4,000万ドル**（前年比22.5%増に達し、市場は完全回復）。



## 政策による追い風

「One Big Beautiful Bill (OBBBA)」による**100%ボーナス償却復活**と**R&D即時償却**が、設備投資を**劇的に加速**。



## 2026年の展望

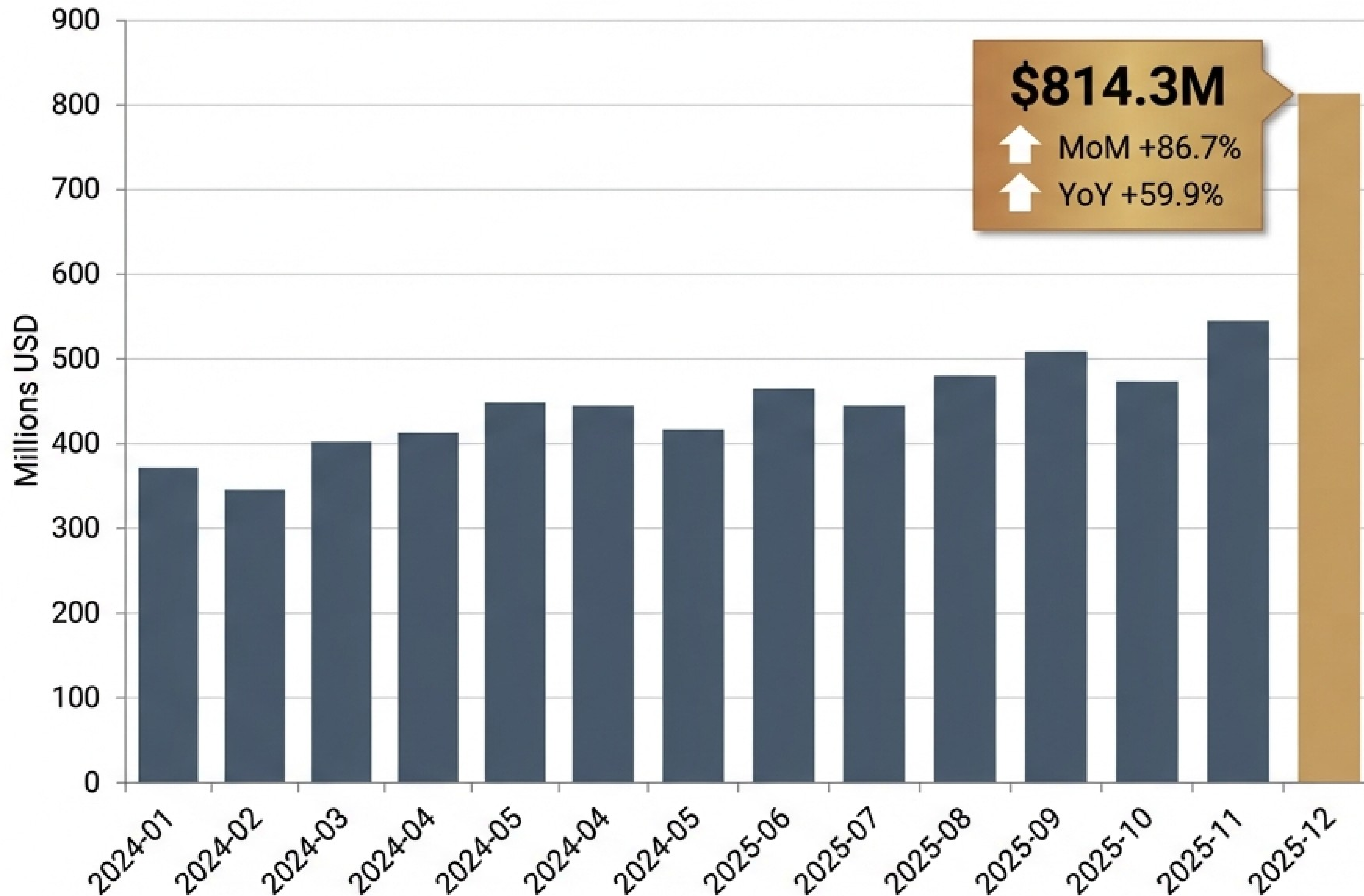
**AIインフラ、エネルギー、防衛**が牽引。規制緩和が投資を支えるが、**関税リスク**には注視が必要。



## 日本企業の勝機

米国の**供給不足**と**自動化ニーズ**に対し、**日本メーカーの信頼性と技術力が合致**。輸出拡大の**絶好機**。

# 2025年12月の衝撃：過去最高額 8億1,430万ドルを記録



## 分析 (Analysis)

- **構造的変化**：単なる季節要因ではなく、構造的な設備投資サイクルの転換点。
- **受注の加速**：11月までの堅調な推移に加え、年末の駆け込み需要と政策期待が爆発的な増加を生んだ。

# 2025年通期実績評価：後半の急回復が牽引



## 通期実績

2025年の受注総額は57億4,000万ドル。前半の不透明感を払拭する結果。

## V字回復

上半期は低調だったが、Q4に設備投資(CapEx)が一気に解放された。

## 実需の裏付け

金額だけでなく販売台数(Units)も増加。インフレだけでなく実需が拡大。

「2024年の受注総額を5.1%上回るペースで推移していたが、12月の急増により最終的に22.5%増という圧倒的な結果となった。」

# 2025年成長のドライバー：セクター別需要と金融環境

## 1. 重要セクターの需要拡大



**航空宇宙 (Aerospace):** 生産課題解決による投資再開。  
**エネルギー (Energy):** AIデータセンター向け発電機・タービン部品。  
**自動車 (Automotive):** Ford等のEV/HVラインへの投資。

## 2. リショアリング



サプライチェーンの国内回帰。「Buy American」トレンドが需要の底堅さを支える。

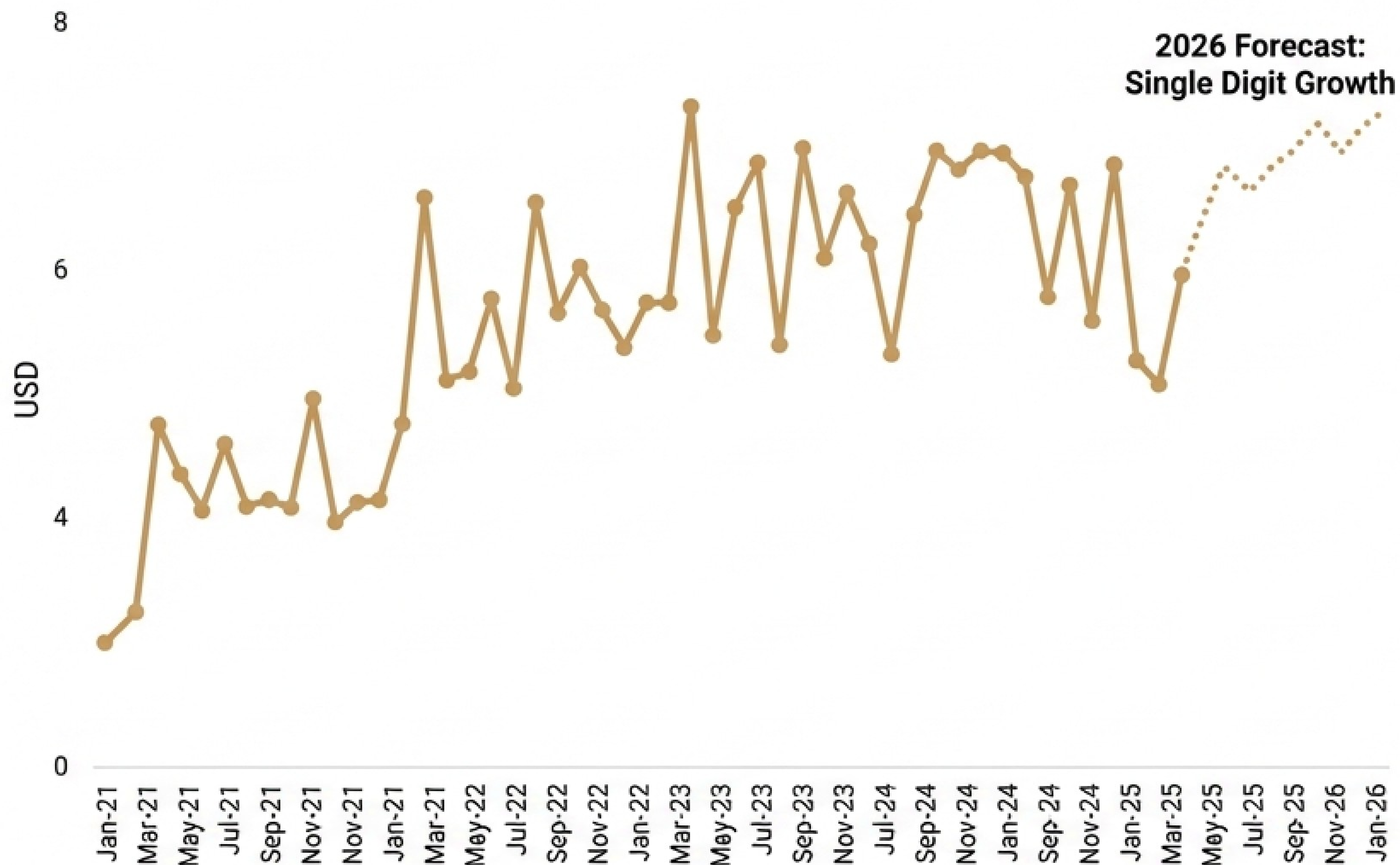
## 3. 金融環境の緩和



2025年後半のFRB利下げにより資金調達コストが低下。大型機械の導入決断を後押し。

# 2026年の展望：モメンタムの持続と新たな成長分野

## 切削工具受注（先行指標）



## 成長予測

Q4の勢いは持続。2026年は前年比一桁台の安定成長へ。

## 先行指標

切削工具（消耗品）消費は約5%増を予測。稼働率の高まりを示唆。

## 注目市場

- AIインフラ（半導体・電力部品）
- 防衛産業（地政学リスク対応）

# トランプ政権下の政策分析：投資促進税制とリスク

## Accelerators: The 'One Big Beautiful Bill' (OBBBA)

- **100%ボーナス償却**：設備投資の即時全額損金算入（恒久化）。
- **R&D即時償却**：国内研究開発費の優遇。
- **Section 179拡大**：中小企業の控除上限を250万ドルに倍増。

⇒ **Impact**：キャッシュフロー改善による即時の購入動機。

## Risks & Watchlist

- **関税政策**（Section 232）：鉄鋼・アルミおよび輸入機械への追加関税リスク。
- **コスト転嫁**：旺盛な需要を背景に、コスト増を価格転嫁できるかが焦点。

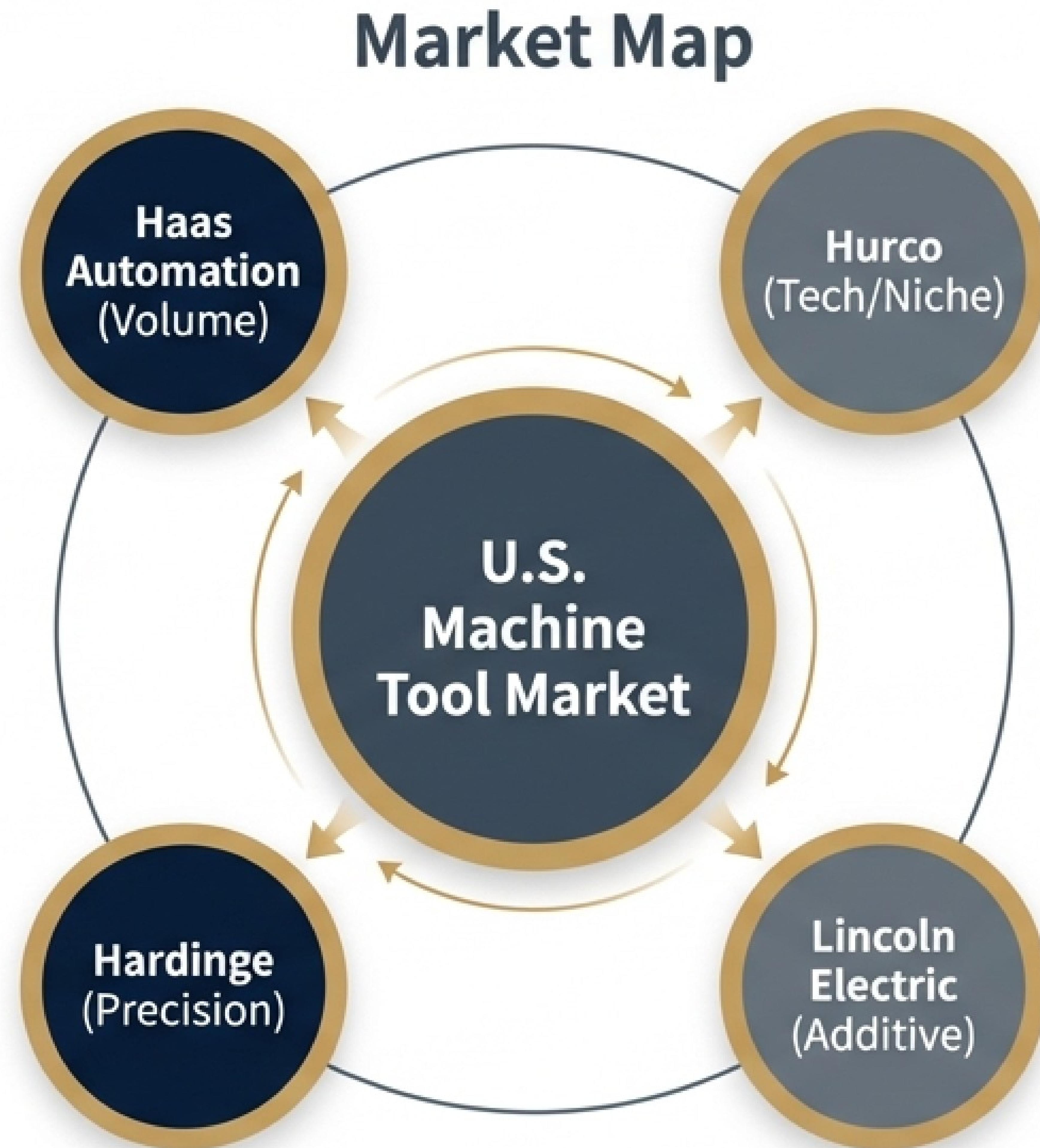
# 米国製造業の構造変化：労働力不足と自動化への強制



米国の製造現場では『**人手不足**』が慢性化。単なる機械更新ではなく『**省人化・自動化**』が必須要件。

- **スキルギャップ**：熟練工引退と若手不足の深刻化。
- **産業用AI**：マシンビジョン、予知保全を組み込んだCNCへの需要。
- **エネルギー自給**：データセンター用発電機など大型部品加工ニーズ。

# 米国工作機械市場の競合環境



## 市場構造

市場集中度は中程度 (Moderate) 。  
大手とニッチメーカーが混在。

## トレンド

M&Aによる統合が進行中 (例：  
Sandvik, United Grinding) 。

## 技術焦点

「コネクティビティ」と「ハイブリッド加工 (積層+切削)」への注力。

# 主要米国メーカーの動向と戦略

## Haas Automation



- **特徴**：圧倒的なシェアを持つボリュームリーダー。
- **戦略**：低価格・使いやすさを重視したVMC展開。

## Hurco Companies



- **特徴**：対話型制御 (WinMax) で多品種少量生産に強み。
- **動向**：5軸加工機へのシフトと自動化対応。

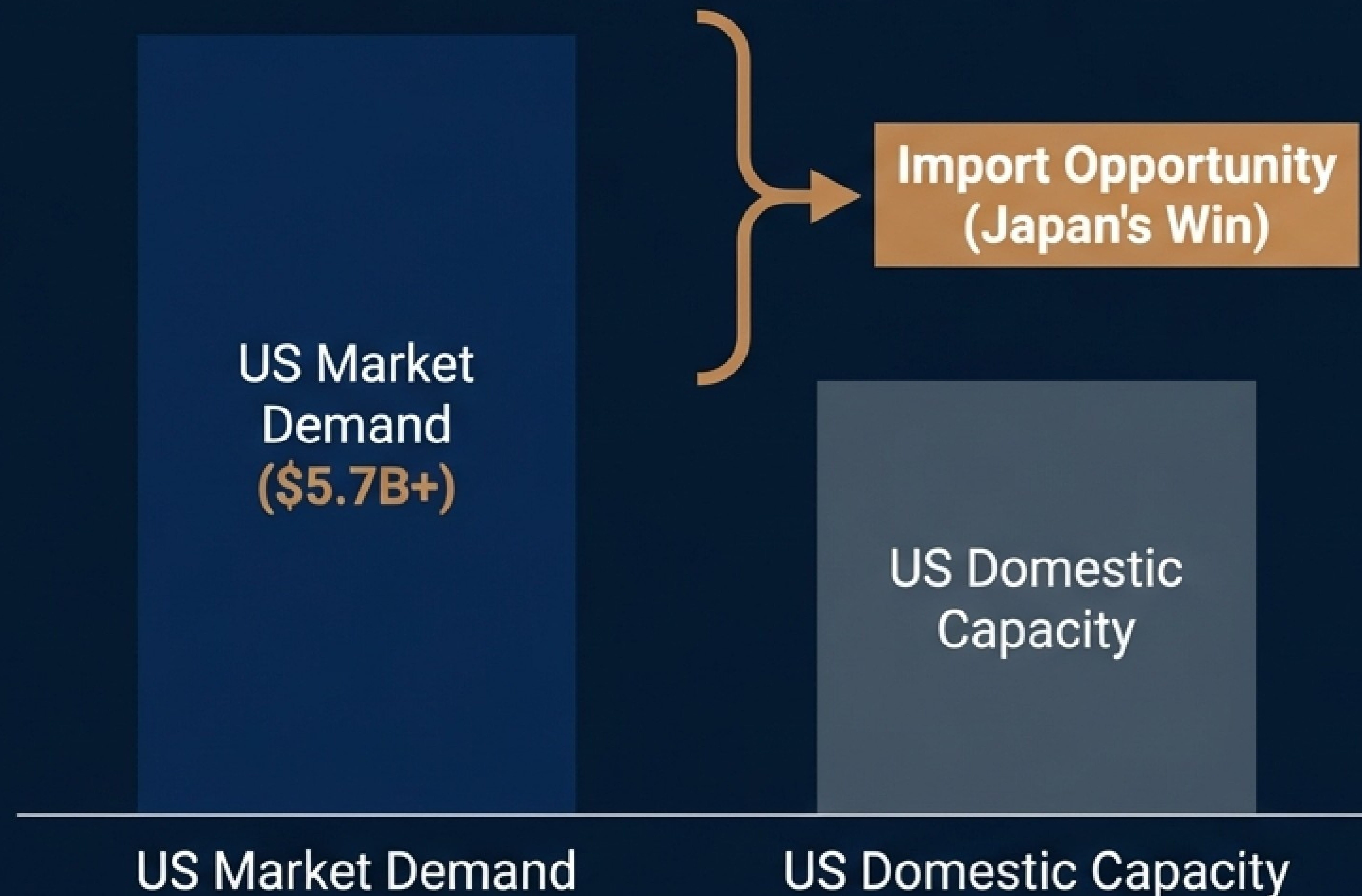
## Hardinge / Forkardt







- **特徴**：高精度旋削・研削とワークホールディング。
- **動向**：PEファンド傘下での事業再構築とKellenbergerブランド強化。

# 日本企業の対米輸出拡大の可能性

## Gap Analysis



-  供給能力ギャップ：急増する需要を国内メーカーのみで賄うのは不可能。
-  自動化の優位性：Fanuc, Okuma, Mazak等の信頼性は『ゴールドスタンダード』。
-  税制メリット：OBBBAは日本製購入時にも適用可能（購入者側のメリット）。
-  競争力：ドル高是正があっても、日本製品の品質プレミアムは揺るがない。